

【総務委員会】

委員長 杉本 達也

所 信

めまぐるしく変化し続ける時代の中で（社）丹波青年会議所がこの地に誕生して、40周年という節目の年を迎えることができました。この40周年を迎えるまでに、先輩諸兄が「明るい豊なまちづくり」という目標を胸に抱き、時代の変化に対応しながら築き上げられてきた歴史と伝統に感謝し、そして継承していくかなければなりません。なぜなら、40年間に渡り、先輩諸兄に（社）丹波青年会議所を継続して頂いたからこそ、今こうして私たちが活動できる場があるからです。いつの時代もその時代によっての流れがあります。その流れの変化に対応しつつ、この40年に至るまで先輩諸兄が築き上げられてきたものを次代に引き継いでいく必要があります。

そこで、まず原点を見つめ直す必要があると思います。「温故知新」という私の好きな言葉があります。この言葉の意味は、昔のことをよく学び、そこから新しい考え方や知識を得ること。また、過去のことを研究して、現在の新しい事態に対処することです。まさにいつの時代も私たちに求められていることではないでしょうか。新しいことにチャレンジすることは、とても大切なことであり、難しいことです。しかしながら、歴史、伝統を見つめ直すということの方がさらに大切なことであり、難しいことだと思います。まず、先輩諸兄の想いを見つめ直し、大切にして引き継いでいきましょう。そして、現在を生きる私たちは、この時代の流れを読み取り対応しつつ、田舎力溢れる丹波の無限の可能性を見い出し、デザインしていきましょう。そうしていくことによって個々人が心身とも豊かになり、それが（社）丹波青年会議所という束になって、この丹波の地に本当の「豊かさ」を広げていけると私は信じます。

本年度の総務委員会は、対内的な面においては、想いを形にする前の段階で個々人のその想いが埋もれることのないように、メールやホームページを生かしてメンバー全員が情報を共有できるような環境づくりをします。対外的な面においては、本年度40周年ということで、今まで以上に情報を発信できるチャンスでもあります。まず、現在の情報化社会のメリットを生かせるように、JC関係者主体のホームページではなく、一般の方も興味を持ち、見たいと思うようなホームページを作成します。さらに他団体と積極的に交流し、情報交換を行うなかで、（社）丹波青年会議所の活動を最大限に発信します。そして、丹波の地活性化のために活動されている他団体の新たな情報を収集し、（社）丹波青年会議所が他団体と丹波全体との中継役となり、丹波の地に本当の「豊かさ」を広げてまいります。

基本方針

- 一、想いを形にできる LOM 内での環境づくり
- 一、対外に向けての最大限の情報発信
- 一、各事業、例会に対する連携及び推進

事業計画

1. 10月例会
2. 総会の運営
3. 3JC合同例会
4. HP の作成・管理
5. 記念写真の撮影・管理
6. 一般庶務会計
7. 総合資料の作成
8. 40周年記念誌・対外紙の作成
9. 各種褒賞・表彰
10. 名簿・名刺の作成
11. 公益社団法人格取得に関する調査・研究
12. 会員拡大の推進
13. 行政・各種団体との連携・推進
14. 各委員会との連携・推進
15. 理事長諮問に関する事項